

テンプレートとしても利用できる、講師のノウハウが詰まった補正書・意見書を具体例として使用し解説。
交渉力のスキルアップに加え、明日から使える文例もゲット。



《審査官の思考フローから対応策を導く！》

進歩性欠如の拒絶理由通知への対応ノウハウ

～化学・材料系 技術者にも分かりやすい具体例を挙げての詳説～

日時 2015年6月16日(火) 12:30～16:30 会場 東京・品川区大井町 きゅりあん 6F 中会議室

受講料 43,200円 ⇒ 講師紹介割引 21,600円 (通常受講料の半額)
(本体20,000円+税1,600円)

資料付

講師 エース特許事務所 共同代表、弁理士・技術士(金属部門) 高橋 政治 氏

趣旨

審査官は特許・実用新案審査基準(以下「審査基準」)に沿って審査します。進歩性欠如の拒絶理由が通知された場合、審査官が審査基準に沿って審査したところ進歩性なしとの結論に達したことを意味します。したがって、これに対抗するためには「審査官が進歩性の有無を判断するときの思考フロー」を理解したうえで、この思考フローに沿って審査官が審査した場合に進歩性ありとの結論に達するように、必要に応じて本発明を補正し、意見書によって意見を述べるのが重要です。しかし、審査基準には上記の思考フローが示されていません。また、審査基準には思考フローを構成する重要項目であるにも関わらず、詳細説明がなされていないものがあります。例えば、審査基準には「阻害要因」について、十分な説明がなされていません。本セミナーで解説することは、大きく2つです。1つ目は「審査官が進歩性の有無を判断するときの思考フローとそれを構成する各項目の詳細」です。2つ目は「審査官がそのフローに従って判断した場合に進歩性ありとの結論に達するように、補正書・意見書によって誘導する方法およびノウハウ」です。これらについて、主に化学・材料系技術分野の具体例を挙げて説明します。

プログラム

- 基礎知識の確認
 - 特許制度における「進歩性」の意味
 - 拒絶理由の種類と進歩性欠如の特徴
 - 拒絶理由通知書受領から特許査定または拒絶査定までのフロー
 - 補正書作成におけるポイント
 - 意見書作成におけるポイント
 - 新規性の判断方法
新規性の判断は進歩性を判断するうえでの前提となります。「審査官が新規性の有無を判断するときの思考フロー」を示し、それを構成する重要項目について、具体例を挙げて説明します。
- 審査官が進歩性の有無を判断するときの思考フロー
 - 思考フローの説明
 - 動機づけと阻害要因
 - 技術分野の関連性、課題の共通性、作用・機能の共通性、引用発明の内容中の示唆の詳細について、具体例を挙げて説明します。
 - 有利な効果
 - どのような効果が「有利な効果」と認められるのかを説明します。顕著な効果、異質な効果についても説明します。
 - 設計事項等
 - 公知材料の中からの最適材料の選択、数値範囲の最適化又は好適化、均等物による置換、技術の具体的適用に伴う設計変更の詳細について、具体例を挙げて説明します。
- 審査官が「進歩性あり」との結論に達するように補正書・意見書によって誘導する方法
 - 拒絶理由通知を受領したときに、何を、どのような順で検討すべきか
 - 検討結果に基づいて、補正書、意見書を構成する。
 - 何をどのような順で記載すると訴求力がある意見書となるかを、具体例を挙げて説明します。
 - 主張するポイントごとに、記載すべきキーワードを説明します。
- 化学・材料技術分野に特徴的な実務
 - 数値限定発明
 - 選択発明
 - 組成物の発明
 - 合金、ガラス、ゴムなどの組成物は数値限定発明とも言えますが、一方で独特の対応方法、主張方法があります。実験成績証明書の利用方法についても説明します。
 - パラメータ発明
 - プロダクトバイプロセスクレーム
 - 用途発明

□質疑応答・名刺交換口

※講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

セミナー申込用紙

B150616 (拒絶理由通知)

講師紹介割引

DM

会社名 団体名			
部署			
役職			〒
ふりがな			住所
氏名			
TEL	FAX		
E-mail	※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。		

※太枠の中をご記入下さい。※□にチェックをご記入ください。
※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

<p>今後のご案内</p> <p><input type="checkbox"/> E-mail希望・登録済み</p> <p><input type="checkbox"/> 郵送希望・登録済み</p> <p><input type="checkbox"/> 希望しない</p>
<p>お支払方法</p> <p><input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込予定日 月 日)</p> <p><input type="checkbox"/> 当日現金払い</p>
<p>通信欄</p>

●受講料について
特別割引用紙のため、他の割引との併用はできません。
●お申込みについて
申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。
また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。
お申込みを確認次第、請求書・受講券・会場案内図をお送りします。
●お支払いについて
受講料は、銀行振込(原則として開催日まで)、もしくは当日現金にてお支払いください。
銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。
振込手数料はお客様がご負担ください。

●個人情報の取り扱いについて
ご記入いただいた個人情報は、事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。
詳しくはホームページをご覧ください。
※ご注意※
・お申込み後はキャンセルできません。
・ご都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
・参加者が最少催行人数に達しない場合など、事情により中止になる場合がございます。



サイエンス & テクノロジー
研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍
サイエンス&テクノロジー株式会社
TEL 03-5733-4188 FAX 03-5733-4187
〒105-0013
東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F
http://www.science-t.com



FAX 03-5733-4187

HPからも
お申込みができます

検索
サイトで

B150616 拒絶理由通知

で検索!